

長野県民手帳の歴史

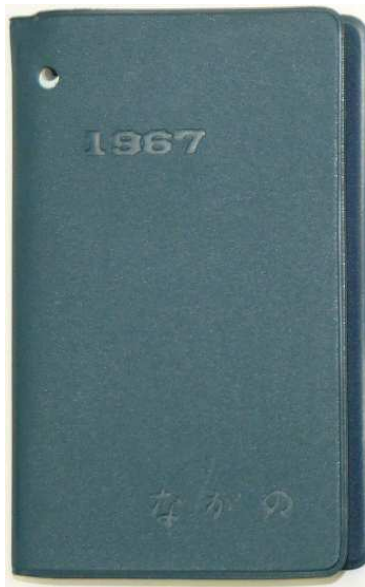
長野県統計協会

長野県民手帳は、1961年（昭和36年）に初めて発刊されました。それまでは、主に国・県の統計調査に従事する統計調査員に配布されていましたが、使いやすいとの評判から県民の皆様の要望で、一般に販売するようになりました。

刊行当初から、市町村別主要統計や健康に関する知識など、日常役立つ情報を掲載し、その後社会の発展にあわせ、その内容を充実してきました。

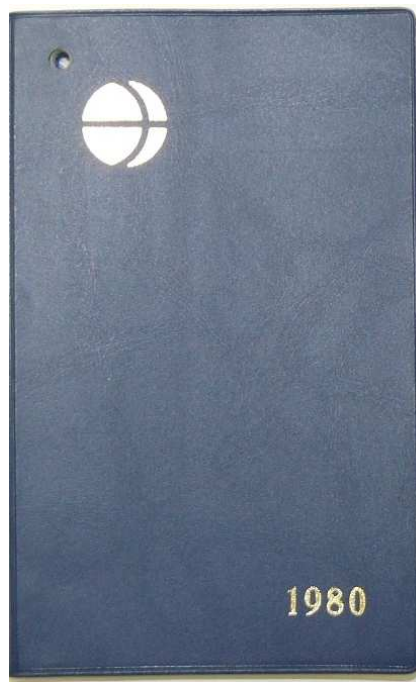
2019年版で、57回目の刊行となります。これからも、県民の皆様に愛用され続ける手帳を目指してまいります。

カバーに県章が掲載され始めたのは、昭和43年版から



昭和42年(1967年)版
大きさ：12.0cm×7.0cm
資料編等：72頁
販売価格：100円

歴代の手帳のなかでも
大き目サイズの昭和55年版



昭和55年(1980年)版
大きさ：14.5cm×9.0cm
資料編等：77頁
販売価格：300円

昭和56年版から定着した
ちょうどいいポケットサイズ



2019年版
大きさ：13.8cm×7.8cm
資料編等：107頁
販売価格：500円